

現地会議in福島 『伝える・つなげる福島の復興』

行政を頼らず 行政と共に
そして全国とつながって

みんな共和国



近藤能之

南相馬(福島)で生きることへの差別と偏見

- 今でも放射能の雨が降っている
- 南相馬で子育てしちゃいけない
- 南相馬に子どもがいてはいけない
- 親が子どもを犠牲にしている
- かわいそうな子どもたちというレッテル
- 女の子は結婚できない・自分の子とは結婚させたくない
- 子どもが奇形児になる

外遊び水遊びへの安心感創り

震災前は海や川で遊んでいた子どもたち



震災後、海は津波で、川は放射能の影響で遊べなくなってしまった。

2年経って...



子どもが安心して水遊びができる場所が必要



必要ならば、創りだすしかない。

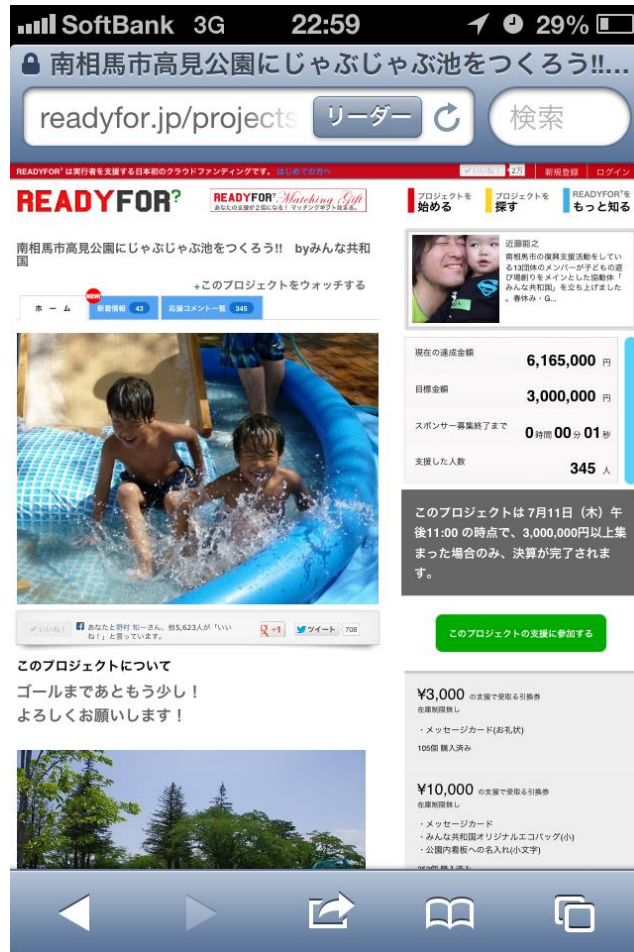
じゃぶじゃぶ池完成セレモニー



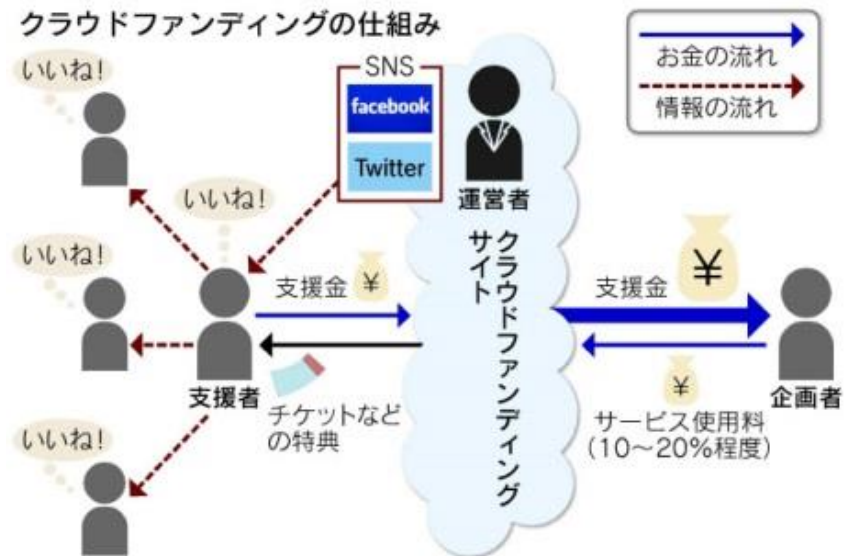
目的は公園を作ることではない

- 公園を作ることはいくまで手段であり、目的ではない。目的は、“安心感を創り出す”こと。
- 人に作ってもらう安心感ではなく、市民自らが動いて創り出した安心感にこそ意味がある。
- 関わった人が感動を共有できること。
- 市民と個人・グループ・団体・企業とが直接つながって、その上で行政と連携して創る公園
- 行政には依存せず、フォローを求める

日本全国の熱い思いがつながって創る クラウドファンディング「READY FOR?」の活用



ネットやSNSを使って資金
を調達し、夢を実現できる!!



助成金頼みにならない形

テレビ・新聞での報道により 南相馬が動いていることを知る



子供たちはビシビシ濡れになって楽しんだ

高見公園に じゃぶじゃぶ池

「子供たちに水遊びさせたいね」そのちょっとした願いが実現しました。7月21日、道の駅南相馬の西側の高見公園に「じゃぶじゃぶ池」がオープンし、多くの家族連れでにぎわいました。



参加した子供たち全員で
テープカットしてオープン

じゃぶじゃぶ池を作ったのは、みんな共和国の皆さん。東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故などで避難を強いられている子供たちのために遊び場や遊具を提供してきました。今回作った池は、多くの方から協力をいただき、年間を通して誰でも楽しめる水遊び場として作られました。



子供たちに負けない
大人たちの笑顔が
公園にあふれていた

水遊び池 ネットで資金募り

南相馬の市民グループ企画

子供たちが安心して水遊びできる施設をつくり、南相馬の市がけがらを少しでも元気にする。同じく南相馬市に避難している避難民の子どもたちにも、水遊びの場を提供する。そんな思いで、市民グループが企画した。

南相馬の市民グループは、市内で避難している避難民の子どもたちにも、水遊びの場を提供する。そんな思いで、市民グループが企画した。

完成後、市に譲渡 7月にも

7月にも完成後、市に譲渡される予定だ。市民グループは、市内で避難している避難民の子どもたちにも、水遊びの場を提供する。そんな思いで、市民グループが企画した。

「じゃぶじゃぶ池」で遊ぼう

新希望

南相馬に建設中 資金集めが課題

南相馬市に建設中。市民グループが企画した。資金集めが課題。市民グループは、市内で避難している避難民の子どもたちにも、水遊びの場を提供する。そんな思いで、市民グループが企画した。

市民グループは、市内で避難している避難民の子どもたちにも、水遊びの場を提供する。そんな思いで、市民グループが企画した。

これからの市民活動とは？

◎NPOや任意団体などの市民活動が行政の補完をするのではなく、行政が市民活動を補完していく流れに

⇒そのために、市民活動家が企業・団体とつながりやすくするなるネットワークの構築が必要

◎まずは集まっているいろんな角度から対話を始めてみよう!!!それを重ねていくことでやるべきことが見えてくる

⇒みんな未来センターでの対話

⇒課題は...若い世代が参加しやすい場作り

みんな共和国では今後高校生との対話を企画

現状課題と復興のための条件

①両親共働き家庭の増加

②放射能の影響による子作り手控えの反動と安心感の定着による子作りの増加

⇒保育園は満杯・幼稚園は定員未充足

⇒増築増床/保育士増が必要

⇒資金難/保育士がいない

⇒待機児の増加

⇒避難者は子どもを預けられないので

戻って来れない

→やはり『医療と福祉』が充実しないと復興が進まない

— 51 —

みみセンって何？

『みみセン』？何するところ？



みんな未来センター(通称“みみセン”)は、南相馬の『あたらしい楽しさ』を創り出す場所です。

今の南相馬には、何とかしたい問題がたくさんあります。深刻なモノもたくさん...

- みんな未来センターでは、そうした問題に、どうすればみんなが楽しく取り組み、楽しく解決出来るかをみんなで考え、行動しています。
- 街づくりを楽しむ地元の人やご近所さん、南相馬を応援しに市外から来た人などが、集まってきています。
-

『みみセン』設立の想い



震災によって、南相馬は壊されてしまいました。地震で、津波で、そして原発事故で。

目に見えるモノだけでなく、元々あったコミュニティの多くも、壊されたのです。

- みんな未来センターは、新しい街づくりを、その根っこであるコミュニティづくりから行うために創りました。
- 震災後、復興に向けたたくさんの市民が立ち上がりましたが、みんなが共に活動できる場が必要だったのです。
- 市民が集まって様々なやり取りをしながら、南相馬市民発の新しいイノベーションを生み出しています。

『みみセン』活動内容

みんな共和
国

フューチャー
センター

飲食店



みんな共和国

子どもたちの笑顔のために…

みんな未来センターは、
みんな共和国の事務局です。





フューチャーセンター

新しい街づくりに向けて

ワークショップや様々な講座、
ミーティングを開いています。





飲食店

コミュニティスペースとして

『みんなのキッチン』営業中。
カフェスペースもオープン予定。



『みみセン』の未来



愛される場として

市民
みんなと

街の
歯車に!!